守谷市の道徳教育

守 谷 市 道 徳 教 育

小学校・中学校 学習指導要領 道徳教育目標

いばらき教育プラン「一人一人が輝く 教育立県をめざして」

守谷市保幼小中高一貫教育目標

確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくみ，将来の夢に向かって努力できる児童生徒の育成

守谷市 道徳教育目標 「共に生きる」

思いやりの心をもち，個性を尊重し合いながらよりよい生き方を目指すことのできる児童生徒の育成

中学校区 道徳教育目標（平成 27 年度）

【守谷中学校区】
思いやりの心をもち，自他の個性を尊重し合いながらよりよく生きようとする児童生徒の育成

【愛宕中学校区】
思いやりと感謝の心をもって，共に支え合い助け合うことのできる児童生徒の育成

【御所ケ丘中学校区】
失敗にくじけず，一歩一歩努力できる児童生徒の育成

【けやき台中学校区】
思いやりの心をもって互いを尊重し，協力し合える児童生徒の育成

守谷市 道徳教育の充実に向けた3つの方策

【方策 1】
◆ 守谷市道徳教育推進委員会の開催（年4回。市教研道徳部会と連携。）
○教科化に備えての理論研修
○各中学校区並びに各校の道徳教育実践の共有

教員をつなぐ

【方策 2】
◆ 各校の道徳教育推進委員（推進教師）による道徳教育の推進
○中学校区，校内，幼・高乗り入れ等，研修の充実
○道徳教育に係る計画の立案と推進

校種をつなぐ

【方策 3】
◆ 中学校区による道徳提案授業の実施
○推進委員を中心とした中学校区での道徳授業づくり（小中合同指導案検討会，相互参観，研究協議会等）

学校区をつなぐ

平成27年度道徳教育推進委員会の取組について

1　今年度の重点とする取組「意識化と共有化」の視点を大切に一

保幼小中高の「系統性」を一層意識した授業づくり

○　中学校区道徳教育計画を活用した授業実践

同じ内容項目を，小学校（低・中・高学年）そして中学校ではどのようにして価値を深めいくのか。道徳授業の系統性を意識していくために，道徳教育計画を活用していく。

○　道徳授業の「本質」を再考するための研修の充実

各校，中学校区（小一小，小一中）での研修はもとより，保幼や高の視点を生かす。

○　守谷市「学びのプラン(学習・生活スキル)」を授業の土台として

2　具体的な取組

市教研夏季研修会（H27.8.4）

○　講義・演習　「ねらいを大切にした道徳授業づくり」　指導室　道徳教育担当
○　情報交換　「中学校区での道徳授業の実践」―授業実践の共有化
○　演習　「つくってみよう！考える道徳授業」―共通教材での授業づくり
○　講義　「特別の教科　道徳の実施に向けて」

第１回道徳教育推進委員会（H27.5.7）

○　今年度の重点や推進計画及び推進体制の確認
○　研修　「今後の道徳教育の動向」
「誰もが楽しみに待つ道徳授業をめざして―道徳授業を『焦点化する』とは―」

第２回道徳教育推進委員会（H27.9.17）

○　けやき台中学校区道徳提案授業の指導案検討会
けやき台中学校区で重点項目となっている内容項目 2-(2)「思いやり」についての授業について指導案をもとに検討会を行った。（小：さりげない心遣い，中：相手を尊重する，そっと見守ることも思いやり）

①　授業研究の流れの確認
・小中学校で共通教材「オトちゃんルールはあたり前のルール」を高野小，松ケ丘小，けやき台中で実施する。小学校の授業には中学校の教諭が参加する。（９月～10 月）
・各校の授業で学んだことを記入した「ハートの木」を交流させる。

②　研修のようす(高野小：大里教諭，松ケ丘小：菅野教諭の授業)

指導案検討

高野小での授業

松ケ丘小での授業

中学校教諭によるハートの木の提示

第３回道徳教育推進委員会（H27.11.30）

○　各小中学校で実施した授業を受けて，けやき台中学校区において教材「アフリカの少年」での授業を実施した。交流カード「ハートの木」への記載から，小学校と中学校での「思いやり」についての学びの深まりを比較・検証した。

中学校区での検討

けやき台中学校での授業

ハートの木

研究協議

第４回道徳教育推進委員会（H28.1.27）

○　中学校道徳教育計画を生かした実践報告（実践レポートをもとに）
・中学校区共通テーマから
○　次年度に向けた課題と展望

3　成果と課題

○　今年度は「ハートの木」を通した児童・生徒の考えの交流による中学校区での道徳への取組を実践した。児童生徒の直接の交流はなかったが，「思いやりの質」の変容を検証することできた。一貫教育の視点から，新しい道徳授業を提案することができた。
○　推進委員会において，今後の道徳教育の方向性や授業づくりについての実践的な研修を行うことができた。また，それを受けて各中学校区で共通テーマによる自主的な研修を行えたことも大きな成果である。
○　今後は中学校区道徳教育計画を見直し，教科化に備えていきたい。また，保幼小や中高での道徳教育についても検討を重ねていく必要がある。